

- 2018年12月の総合防災訓練前に、改善事項の定着化を目的としたシナリオ開示型図上訓練を複数回実施しました。
- シナリオ開示型図上訓練は、対応要員の役割認識や組織対応力向上の観点で有効であったことから、2019年度は、単独の訓練として定期的実施し、熟練者の増加に取り組んでいます。

（2）訓練による定着化

12月訓練での改善事項

- 新たな運用の習熟
 - ・シナリオ開示型訓練を繰り返し実施することにより、各要員の役割および運用の定着
- 改善した情報共有ツールの有効性を確認
 - ・さまざまなシナリオで使用することにより、情報共有ツールの仕様の改善や運用の見直しを実施

2019年度の取り組み

- シナリオ開示型図上訓練の継続的实施
 - ・総合訓練（シナリオ非開示）とは別に、発電所と本店連携で定期的訓練を実施
 - ・事前に訓練の狙い・期待事項を周知し、訓練効果を高めるための開示型の訓練を実施
- テロや輸送事故等様々な事象を想定した図上訓練（シナリオ非開示）も並行して実施



（発電所本部）



（本店本部）